

踊仏念

28日 蓮如



蓮如上人御忌法要に向け、合同披露する「蓮如音頭」の練習に励む塩屋と吉崎の住民
加賀市塩屋町

明覚上

五十音

山代温



明覚上人にちなんで作られた五十音図表(上)と日本語年表

にちなみ、五十音図表と日本語年表を作製した。温泉旅館などに配布し、外国人観光客に親しんでもらうほか、日本語にちなむ史実を年代別に紹介する内容で、行基が山代温泉を見つけたことや、明覚上人が五十音図を作ったことを盛り込んだ。

お旅まつり 本番へ稽古本格化

小松市の本折日吉神社と菟橋神社の春季祭礼である「お旅まつり」に向け、曳山子供歌舞伎や子供獅子の稽古が本格的に始まった。まつりは、市内で5月10、12日に開催される。

曳山子供歌舞伎

曳山子供歌舞伎を上演する京町は17日、同町会館で「稽古始めの儀」を行い、練習着「黄八丈」に身を包んだ子供役者が町民に大舞台への意気込みを示した。世話役「五人衆」の山岸克夫委員長、町内会の前多利彦副会長が激励。子供役者7人は「堂々と演じたい」「本番までに完璧にしたい」など順に抱負を述べた。子供役者



子供獅子

本折日吉神社山王会館で



華やかな獅子舞を練習する参加者
小松市本折町

17、18日、子供獅子の合同練習が行われ、各町の小中学生計約40人が伝統の舞や獅子の習得に励んだ。

同市龍助町の男性有志でつくる「龍助町大獅子」のメンバーが、獅子がチョウと戯れる様子を表した立ち回りを念入りに教えた。

こまつ歌舞伎
未来塾が総会
こまつ歌舞伎未来塾(小

美川南町 台車の車輪新調

おかえり祭りへ

藩政期の建造以来初



新調された車輪が取り付けられた美川南町の台車
＝白山市美川浜町

筋」を担当することから取り換えた。

北村工務店(美川和波町)の干や階段などの組み立て作業を始める。本番までに金箔の貼り直し、北島仏壇製作所(美川新町)なども行う。作業を見守ったの4代目塗師北島昭浩さんが漆塗りを実施。車輪には耐久性の高い赤松を使用し、台車の重みに耐えられるよう、以前より盛り上げていきたい」と意気込んでいます。

松市)の総会は17日、同市つりん小松(北國新聞社公会堂で開かれ、今年度事業計画を確認した。5月5、6日の日本こども歌舞伎まつり

長野裕塾長、石田寛人相談方、和田慎司市長がい塾生はこれまでで最多の計103人になると説明され

◆加賀会議所が記念誌

加賀商工会議所は18日までに、創立50周年記念誌を発行した。A4判、65ページ、50年間の活動や創立50周年記念事業などが掲載されている。

プロモーションで「日芸」と連携協定

23日、小松市



小松市と日大芸術学部は23日、連携協力に関する包括協定を結ぶ。「日芸」は著名な脚本家や演出家、俳優を輩出しており、市は2023年春の北陸新幹線敷設開業に向けたプロモーションで映像、音楽技術の協力をを受け、市立高芸術コースの生徒との芸術交流も進めたい考えだ。同日、和田慎司市長と木村政司学部長が協定書を交わす。